

【試験概要】実施：東京支店

雑草名	オヒシバおよび広葉雑草
散布日	2019年7月9日
散布方法	加圧式散布機
散布水量	100ℓ/10a (400ml/区)
試験規模	4㎡ (2m×2m)
実施場所	茨城県稲敷郡 (非農耕地)

【試験結果】

ワンサイドP乳剤、タッチダウンiQ組み合わせ区は、散布31日後までオヒシバなどイネ科雑草、および広葉雑草を完全に抑えることが確認された。対照のA剤25倍区は黄化症状が見られるものの直ぐに再生した。ワンサイドP乳剤区はイネ科雑草は枯死したがスベリヒユなど広葉雑草が残った。散布時のオヒシバは15～20cm程度であった。



無処理区 31日後

◎試験の写真は裏面をご覧ください。

除草剤

ワンサイドP乳剤



最近、イネ科雑草が除草剤で枯らしきれない、またはすぐに再生するという話をよく耳にします。もしかしたらグリホサート抵抗性イネ科雑草かもしれません。今回はワンサイドP乳剤とグリホサート系（タッチダウンiQ）の組み合わせで行った社内自主試験事例をご紹介します。

IBJ防除情報

(Ishihara Bioscience Japan = 石原バイオサイエンスの略)

令和元年
12月27日発行

第102号

センチユウ検定サービス実施中！

弊社では、圃場の土壌をご送付頂き、その土壌中のセンチユウ数を測定し、防除計画のご参考にして頂くセンチユウ検定を無料で実施しております。詳しくは弊社担当者へお問い合わせください。

石原の農薬 適用拡大情報

2019年12月4日12月24日までの間に適用拡大となった農薬は次の通りです。

(傍線部が変更点)

アクセルフロアブル

〈作物名の追加〉

作物名「食用ミニバラ」を追加する。

〈適用害虫名の追加〉

作物名「かんきつ」に適用害虫名「アゲハ類」「ヨモギエダシヤク」「クワノミハムシ」を追加する。

作物名「ほうれんそう」に適用害虫名「ウリハムシモドキ」を追加する。

作物名「かぶ」に適用害虫名「キスジノミハムシ」を追加する。

ドーシヤスフロアブル

〈総使用回数の変更〉

作物名「きゅうり」のTPNを含む農薬の総使用回数を

「10回以内」(土壌灌注は1回以内)、散布及び常温煙霧及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内」に変更する。

★詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

ワンサイドP乳剤 & タッチダウン iQ

7月9日(処理前)

ワンサイドP乳剤 500倍
タッチダウンiQ 100倍



ワンサイドP乳剤 500倍



対照A剤 25倍



7月23日(14日後)



8月9日(31日後)



ワンサイドP乳剤は多年生イネ科雑草まで高い効果を示すイネ科専用除草剤です。広葉雑草にも高い効果を発揮するタッチダウンiQと組み合わせるとオヒシバとその他雑草を併せて上手に防除しましょう。



上手な使い方 (水田畦畔使用時の組み合わせ事例)

- 使用液量：10アール当り、水100ℓに対する希釈量
- 使用時期：雑草生育期(草丈30cm以下)
- **タッチダウンiQ 1ℓ(100倍液) / 収穫14日前まで**
- **ワンサイドP乳剤 200~400ml(250~500倍液) / 収穫120日前まで**
- キリナシノズルでていねいに散布してください。
- 調製した薬液は速やかに使いきってください。



※両剤の使用基準は異なりますので、それぞれのラベル記載事項に基づきご使用ください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

